

計 量 証 明 書



計量証明の場合
MLAP標章が入ります

証明書No. [redacted]

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日

計量証明でない場合は
『分析結果報告書』となります

様

計量結果は下記のとおりで
あることを証明いたします

特定計量証明事業者 認定番号 N-0105-01
特定計量証明事業所大阪府第 10343号
計量証明事業所大阪府第 10124号

株 式 会 社 総 合 水 研 究 所

件 名 : [redacted]

〒590-0984 堺市堺区神南辺町1丁4番地6

Tel 072-224-3532 Fax 072-224-3257

試料採取日 : [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted]

計量証明には試料採取日は必須項目です

試料の名称 : [redacted]

項 目	実測濃度 (ng/m ³ N)	* 12%換算濃度 (ng/m ³ N)	* 毒性当量 (ng-TEQ/m ³ N)	計量方法	
PCDDs	排出ガスのみ 標準酸素換算濃度から 毒性当量を算出することがあります			32 2,3,7,8-Te CDDの 毒性に換算した濃度です。	
PCDFs				97	
DL-PCB	0.13	0.11	0.00036	JIS K 0311(2020)	
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	1.5	1.2	0.016		
試料の区別	自社採取試料			※環境基準や排出基準等への適合 ToTalの毒性当量をご確認ください	
備 考	「*」印については計量証明対象外であることを 採取ガス量 : XXXXXXXXXX m ³ N 平均酸素濃度 : XXXX %				
※計量証明できるのは原則的に自社採取試料のみです。 お客様による採取の場合は、 備考欄に採取者情報を入れる必要があります。 採取手順が手順書に沿ったものであったことが 確認できない場合は計量証明として発行できません。					
結果の詳細は別紙の通りである。尚、本証明書を断りなく複写することを禁止する。					

別紙

○試料中のダイオキシン類計量

《 》

排出ガスのみ
標準酸素換算濃度から
毒性当量を算出することがあります。

証明書No. XXXXXXXXXX

試料採取日 年 月 日

	実測濃度 Cs (ng/m ³ N)	換算濃度 C (ng/m ³ N)	試料における 定量下限 (ng/m ³ N)	試料における 検出下限 (ng/m ³ N)	毒性等価係数TEF	毒性当量 (ng-TEQ/m ³ N)
PCDD	2,3,7,8-TeCDD	ND	ND	0.0018	0.0006	1
	TeCDDs	0.054	0.046			
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.0042	0.0034			
	PeCDDs	0.066	0.056			
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.0046	0.0039			
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.010	0.0086			
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.0087	0.0074			
	HxCDDs	0.13	0.11			
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.069	0.059			
	HpCDDs	0.12	0.10			
	OCDD	0.089	0.076			
	total PCDDs	0.46	0.39			
PCDF	2,3,7,8-TeCDF	0.0089	0.0074	0.0017	0.0006	0.1
	TeCDFs	0.22	0.19	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.0082	0.0074	0.0015	0.0004	3.03
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.013	0.011	0.0018	0.0006	0.3
	PeCDFs	0.21	0.18	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.014	0.012	0.0033	0.0009	0.1
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.015	0.014	0.0028	0.0009	0.1
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	(0.0027)	(0.0023)	0.0028	0.0007	0.1
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.025	0.021	0.0024	0.0007	0.1
	HxCDFs	0.20	0.17	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.062	0.053	0.0024	0.0007	3.01
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.021	0.018	0.0031	0.0009	3.01
	HpCDFs	0.16	0.13	-	-	-
	OCDF	0.073	0.062	0.0026	0.0007	0.0003
	total PCDFs	0.87	0.74	-	-	-
		1.3	1.1	-	-	-
DL-PCB		0.0016	0.0014	0.0013	0.0004	0.0003
		0.017	0.015	0.0007	0.0002	0.0001
		0.0043	0.0036	0.0018	0.0006	0.1
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	ND	0.0018	0.0006	3.03
	ノノオルト体	0.023	0.020	-	-	-
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	(0.0014)	(0.0013)	0.0020	0.0006	0.30003
	2,3',4,4',5-PeCB(#118)	0.063	0.054	0.0030	0.0009	0.30003
		0.025	0.026	0.0007	0.0003	0.30003
		0.0026	0.0030	0.0009	0.0003	0.30003
		(0.0023)	0.0028	0.0007	0.0003	0
DL-PCB		0.0062	0.0017	0.0006	0.0003	0.30003
		(0.0016)	0.0031	0.0009	0.0003	0
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	(0.0015)	(0.0013)	0.0024	0.0007	0.30003
	モノオルト体	0.10	0.088	-	-	-
	total (DL-PCB)	0.13	0.11	-	-	-
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCB)		1.5	1.2	-	-	0.016

2,3,7,8-Te CDDの
毒性に換算した濃度です
実測濃度 (又は換算濃度) × 毒性等価係数から、
算出します。実測濃度が定量下限未満の数値の
取り扱いは測定目的によって変わりますので、
あらかじめご相談ください。

検出下限未満はNDと表記します

検出下限以上、定量下限未満の場合は
0付きで表記します

- 備考 1. 実測濃度：ダイオキシン類濃度 (ng/m³N)
2. 換算濃度：ダイオキシン類濃度 (ng/m³N at O₂ = 12%)

$$C = \frac{21 - 12}{21 - O_2} \times C_s \quad (O_2 \text{ は排出ガス中の酸素濃度が20%を超える場合})$$

3. 毒性当量：2,3,7,8-TCDD毒性当量 (ng-TEQ/m³N)
4. 実測濃度の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
5. 毒性等価係数はWHO/IPCS (2006) のTEFを適用した。
6. 各濃度は有効数字2桁を原則とし、それぞれ個別に桁まるめを行うため、表記上各Total量等はあわなくなる場合がある。

※環境基準、排出基準等への適合は
Totalの毒性当量をご確認ください。